

2026 年 7 月改訂

貯 法	室温保存
-----	------

日本標準商品分類番号 879939

承認指令書番号	農林水産省指令 2 動薬第 2126 号
販売開始	2013 年 2 月

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。
また、本書を必要なときに参照できるように大切に保管してください。



動物用医薬品



フェニルピラゾール系殺虫剤

マイフリーガード® α 犬用

本剤はフェニルピラゾール系化合物であるフィプロニル及び幼若ホルモン系昆虫成長制御剤である(S)-メトブレンを含有する製剤です。
フィプロニルはノミ、マダニ、シラミ及びハジラミに対して強い殺虫力をもつ成分です。また、(S)-メトブレンはノミ卵の孵化阻害及びノミ幼虫の変態を阻害する成分です。

【成分及び分量】

本剤 1 mL 中
フィプロニル…………… 100.0 mg
(S)-メトブレン…………… 90.0 mg

【効能又は効果】

犬：ノミ、マダニ、シラミ及びハジラミの駆除
ノミ卵の孵化阻害及びノミ幼虫の変態阻害によるノミ寄生予防

【用法及び用量】

8 週齢以上の犬の肩甲骨間背部の被毛を分け、皮膚上の 1 部位に直接次のピペット全量を滴下する。

体 重	容量規格
5 kg 未満	0.5 mL 入りピペット
5 ～ 10 kg 未満	0.67 mL 入りピペット
10 ～ 20 kg 未満	1.34 mL 入りピペット
20 ～ 40 kg 未満	2.68 mL 入りピペット
40 ～ 60 kg 未満	4.02 mL 入りピペット

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと （一般的注意） ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。 ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。 ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。 ・犬以外の動物には使用しないこと。特にウサギには使用しないこと。 （使用者に対する注意） ・内容液を直接手で触らないこと。 ・本剤投与後、完全に乾くまで（通常 4 時間程度）は投与部位に直接触れないこと。また、投与したことを知らない人も触れないように注意すること。特に、小児がいる多頭飼いの家庭で複数の犬に同時に本剤を投与する場合は、投与した犬と小児との接触を避けること。 ・本剤は、投与後の犬と小児との接触を避けるよう大人が注意を払える時間帯に投与すること。特に、3 歳以下の幼児が投与後に犬に触れた場合、その手を口を持って行く可能性があり、体重あたりの薬剤暴露量も大人より大きくなるので、3 歳以下の幼児がいる家庭で本剤を使用する場合は、投与部位が完全に乾くまで投与した犬と幼児との接触を完全に避けること。また、その後も幼児が投与した犬に触れた場合は、必ず石けんで手をよく洗うこと。 ・喫煙や飲食をしながら投与しないこと。 （犬に関する注意） ・本剤使用後 1 日間は、水浴あるいはシャンプーを控えることが望ましい。 ・衰弱、高齢、妊娠中あるいは授乳中の犬に対して使用する場合には獣医師に相談すること。 ・本剤は外用以外に使用しないこと。 ・本剤は 1 回投与すると通常ノミに対し 1 ～ 3 カ月間、マダニに対し約 1 カ月間新規の寄生を防御することができる。更に本剤は、ノミの全ての発育ステージ（卵、幼虫、蛹）を最大 3 カ月間阻害する作用を有する。次回の投与は、これらの寄生虫を防御する期間を考慮して行うこと。 （取扱い及び廃棄のための注意） ・本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。 ・本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。 ・小児の手の届かないところに保管すること。 ・本剤の保管は直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しいところに保管すること。

・本剤のボトル型については、使用後に専用のノズルキャップを装着して保管し、開封後は 3 カ月以内に使い切ること。

・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

・もし、誤って眼に入った場合は直ちに流水中で洗い流すこと。刺激が続くような場合は、眼科医の診察を受けること。

・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

・内容液が皮膚に付着した場合は、まれに一過性の皮膚反応が起こることがあるので、使用後は石けんで、手をよく洗うこと。

(犬に関する注意)

・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

・もし、動物が舐めた場合、溶媒の性状のため一過性の流涎が観察されることがある。そのため、滴下部位を他の動物が舐めないように注意すること。

・まれに、他の外用殺虫剤と同様に、本剤を使用後、個体差による一過性の過敏症（投与部位の刺激によるそう痒、発赤、脱色、脱毛）が起こることがあるので、症状が持続又は悪化する場合は、速やかに獣医師の診察を受けること。

・万が一、皮膚に異常を来した場合は、直ぐに水洗して薬液を洗い流すこと。

(取扱い上の注意)

・本剤のボトル型はポンプを 1 回押すごとに規定量が吐出されるように設計されているが、ポンプを装着した後、最初の 5 回分の液には空気等が入る可能性があるため捨てること。また、長期間使用しない場合も同様に操作すること。

(専門的事項)

①その他の注意

・本剤は、犬に寄生したノミ及びマダニを駆除する動物用医薬品であり、これらの寄生虫が媒介する疾病の伝播を阻止できるかについての検討は行っていない。

【有効期間】

36 カ月

【包 装】

0.5 mL × 3 本 (プリスター包装)

0.5 mL × 24 本 (ピロー包装)

0.67 mL × 3 本 (プリスター包装)

0.67 mL × 24 本 (ピロー包装)

1.34 mL × 3 本 (プリスター包装)

1.34 mL × 24 本 (ピロー包装)

2.68 mL × 3 本 (プリスター包装)

2.68 mL × 18 本 (ピロー包装)

4.02 mL × 3 本 (プリスター包装)

【投与方法】



ピベット先端を持って軽く 皮膚が見えるように肩甲骨 皮ベットを数回押し、薬液 振り、先端に残液が無いこと の間の被毛をしっかりとかき の全量を皮膚に滴下して を確認してください。透明 分けてください。

容器側の折れ線を確認し、 図のように製剤名の記載面を 手前に向けた状態で▲付近 を指で支え、先端を手前の 方に折ってください。

火気厳禁

危険物第四類第三石油類 危険等級Ⅲ グリコール類

【製品情報お問い合わせ先】

日本ビルバック株式会社

TEL 0120(550)700

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所にも報告をお願いします。

製造販売元 日本ビルバック株式会社

京都府宇治市横島町二十四16番地